

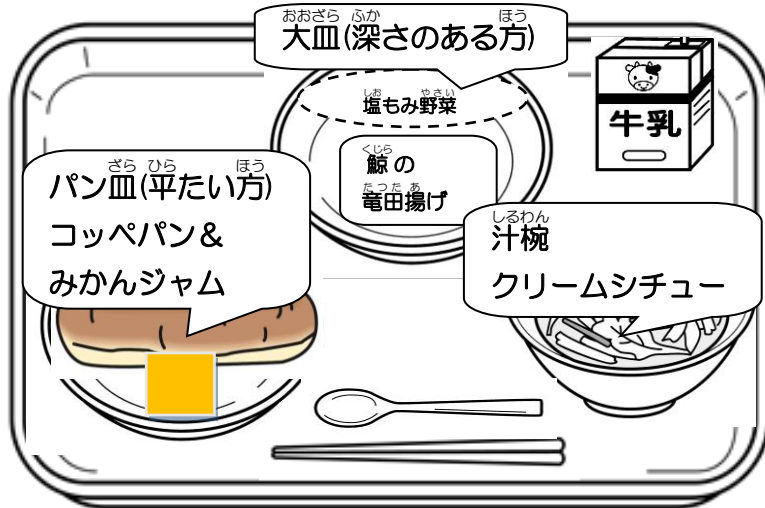


きゅうしょくニュース

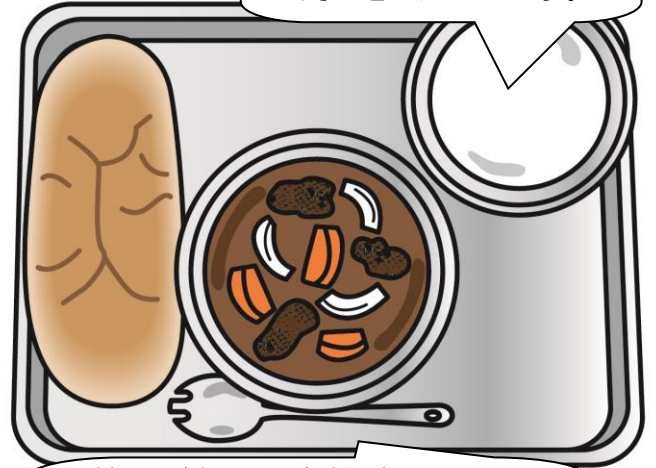


れいわ ねん がつ にちげつようび
令和8年1月26日 月曜日

むかし きゅうしょくこんだて 昔の給食献立



ミルクは、脱脂粉乳を
お湯で溶いたものです。



昭和30年ごろの給食のイラスト
パン・カレーシチュー・ミルク

全国学校給食週間が始まりました。初日の今日は、昭和30年代(1954-64年)頃の給食をアレンジした献立です。

学校給食は明治22年(1889年)から始まったのですが、第二次世界大戦中は、停止されていました。戦後、外国から贈られた食べ物を使い、学校給食が再開されました。昭和30年代は「パン・おかず一つ・ミルク」の献立がほとんどでした。おかずは少ないですが、パンは今よりも2倍くらい大きいものだったそうです。ご飯給食が正式に導入されたのは、昭和51年のことです。

当時は、鯨が安く手に入ったので、学校給食にもよく使われていました。今では鯨漁が制限されているため、貴重なものとなっています。今日は、ニタリクジラを竜田揚げにしました。

当時の様子を想像しながら、召し上がってください。

☆今日の給食に使っている千葉県産の食べ物☆

牛乳 生姜 人参 きゅうり 船橋市産→小松菜

海神小 給食総選挙開催中!
ロイロノートのアンケートを
取り出して、答えてね!

